

31日に田植え実行

子稲 伝え 遺組

中央農研 北陸センター

上越で屋外栽培

中央農業総合研究セン（上越市）は二十七日、
耐病性のある遺伝子組み 田植えを、同センターの

新潟日報
5/28 (土)

試験ほ場で三十一日に
行うことを決めた。

実験には県内農家らが

反対しており二十七日、

近藤正道参院議員のほ

か、「にいがた食と農と

健康、教育ネットワーク」

などが同センターに実験

中止を要請。えちご上越

農協労組の布施辰夫委

員長は「合意形成ができ

るまで、実験を始めない

でほしい」などと求め

た。

これに対して片山秀策

センター長は「近隣の了

解は得ている。怖いと言

って手をこまねいては
られない。研究者の使命
だ」などと述べた。田植

えは一般に公開される。

同センターでは六月二十

五日に再度、実験の説明

会を開く予定。

また、上越有機農業研

究会の呼び掛けで五月二

十九日午後七時から、上

越市頸城区の希望館で実

験中止を求める会が開か

れる。反対運動の連携、

協力態勢を築くのが狙

い。問い合わせは同会、

025(547)221

0。